

(4) 下水道管理費の財源（下水道使用料）

3兆円を超える下水道管理費用（支出）ですが、その財源（収入）はどうなっているのでしょうか。

前述の（2）と同様に平成16年度の国全体でみると、表-6のとおり、総額は3兆8千億円弱です。その内、公費である市町村や県のお金などが2兆4千億円余りで、使用料収入は1兆3千億円余りを数えています。

表-6 平成16年度の財源内訳 (単位：億円)

財源内訳 年度	使用料収入 (私費)	市町村や県のお金等 (公費)	合計	備考
平成16年度	13,600	24,300	37,900	

(注) 出典：平成16年度下水道統計

使用料収入ですが、汚水処理分の下水道管理費が表-7(表-5の一部を再掲)のように2兆4千億円余りですから、使用料収入は汚水処理分の維持管理費の約2倍弱とはなりませんが起債元利償還費を含めた下水道管理費全体でみると、全体の約56%を占めているに過ぎません。

汚水私費の原則にも拘わらず、国全体ではまだまだ汚水処理分の下水道管理費全体を賄うに至らず、全体の4割強、約1兆円程度(表-7の(a)+(b)-(c))の公費が注ぎ込まれているのが現状であるといえます。

表-7 汚水処理分の下水道管理費と使用料収入 (単位：億円)

項目 年度額	汚水処理分の下水道管理費			使用料収入 総額 (C)	(C)/(a) (%)	(C)/(a) +(b) (%)	備考
	維持管 理費(a)	起債元利償 還費(b)	合計 (a)+(b)				
16年度額	6,900	17,500	24,400	13,600	197	55.7	

(注) 出典：平成16年度下水道統計